

## 4. 長居植物園のドングリ

長居植物園にはマテバシイ、シリブカガシ、ウバメガシ、コナラ、ナラガシワ、カシワ、クヌギ、アベマキ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、イチイガシの13種類のドングリのなかまが植えられています。大阪付近にあり、植物園にないものはミズナラとツクバネガシだけです。日本全国をとっても、ドングリのなかまは他に2種類あるだけです。長居植物園のドングリのなかまをマスターすれば、ハイキングに行っても、ドングリのなかまを見分けることには、ほとんど苦労しないことになります。さあ、やってみましょう。それぞれの種類の特徴をもっと詳しく知りたい人には、大阪市立自然史博物館ミニガイド「長居公園の樹木ーブナ科」が便利です。

おわんは3～5個がひっついて、長い軸につく（ただし、マテバシイでは1個だけのこともある）。どングリの尻はくぼんでいる・・・マテバシイ属 → (2)へ進む



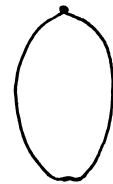
1

2  
 熟したドングリは茶色。尻は大きく、ドングリのいちばん太い部分は基部寄りにある・・・マテバシイ（渋くなく、生で食べられる）



2

熟したドングリは紫色がかり、白いロウの粉をかぶっている。尻は小さく、どングリの一番太い部分は先端寄りにある・・・シリブカガシ（ほとんど渋くない）



おわんは1個ずつ独立して軸につく。どングリの尻はくぼまない・・・コナラ属 → (3)へ進む

